修学旅行の実態調査

―三重県修学旅行研究会―

三重県修学旅行研究会（会長伊藤磐氏）では、57年度修学旅行が終了した段階で、昨年12月に全県下的な、小・中・高等学校の修学旅行の実態調査を実施したが、このたびその集計結果をまとめ、これを発表した。

その内容は、回収率、実施学年、実施時期、旅行期間、郡市別引率教員一人当たりの児童生徒数、児童生徒一人当たりの旅費、児童生徒旅費の内訳（A交通費、B宿泊費、その他食事代、入観覧料、雑費、利用交通機関、見学地及び宿泊地、小遣い、教員旅費の負担、など、修学旅行実施上の各般にわたった調査となっている。

集計の結果は、56年度との対比、また、地域性から分析してその所見を付してあり、三重県のみならず、全国的にも、各学校の修学旅行の教育計画を進める上の好参考となる秀れた資料である。

この調査の集計結果を分析し、同会では「各学校とも旅行の内容について創意工夫をこらし、それぞれの地域性に立った計画がなされているが、今後、小中、高校の一貫した教育の中で、その在り方が検討されなければならないと総括している。

その調査内容のあらましは次の通りである。

一、回収率

小学校、調査対象校四四二校回答校四二三校、回答率九五・五%

中学校、調査対象校一七〇校回答校一六九校、回答率九九・四%

高等学校、調査対象校六六校、回答校六二校、回答率九三・九%

二、実施学年

小学校、六年（四一一校、九六・五%）、五、六年同時実施（一一校、二・六%）、隔年実施のため、本年不実施四校、〇・九%、計一〇〇%

この結果について、同会では「僻地小規模学級の一部に、五・六年同時に隔年実施している学校がある。児童の発達段階や、社会科の学習内容等から六年生実施がよいのではなかろうか。小人数の場合は他校等の連合等で実施できないものだろうか」と指摘している。

中学校、三年が一五〇校、九一・二%、二年が一四校、八・五%

三、実施時期

小学校、四月（一三九校、三三%）五月（二〇七校、四九・一%）六月（一七校、四%）九月（三校、〇・七%）十月（五二校、一二・三%）十一月（四校、〇・九%）となっており、四、五、十月に集中している。

中学校、三月（二校）四月（一九校）五月（六二校）六月（六九校）以上で九二・七%、秋は九月（一校）十月（六校）十一月（五校）以上で七・三%と少い。

高等学校、大部分の学校は十月実施、九月と十一月が数校である。一月と二月の学校が九校あり、概ねスキー研修である。一校だけ九州方面であるのは、旅行客の少い時期を選んで計画されたものと思う。と分析している。また、養護学校の場合、五月実施が二校あったのは、生徒の身体的状況を考慮したものであろう。

以上が小、中、高の実施学年と、実施期間の調査結果であるが、とくに、高校でスキー研修を計画に取り入れるようになったことは、注目すべき点である。

57年度・小、中、高校

これからの修学旅行 ④

文部省初等中等教育局
前　教科調査官
堀　久

前号まで、「3・修学旅行における問題点の解決の方法」を掲載

4　これからの修学旅行への提言

以上、修学旅行に関する問題点の解決の方法についての一端を述べてきたが、事前の指導にせよ、事後の指導にせよ、このために必要な時間が確保されない限り、解決の方法として生かされないことになる。

しかし、ここに一つの朗報がある。これは、教育課程審議会の答申「小学校、中学校及び高等学校の教育課程の基準の改善について」（昭和五十一年十二月十八日）の提唱である。

この答申では、「自ら考え正しく判断できる力をもつ児童生徒の育成ということを重視しながら……」いう前提の下に、次の三つのねらいを明確にし、教育課程の基準に関する種々の改善事項を挙げている。

(1)　人間性豊かな児童生徒を育てること

(2)　ゆとりのあるしかも充実した学校生活が送れるようにすること

(3)　国民として必要とされる基礎的・基本的な内容を重視するとともに児童生徒の個性や能力に応じた教育活動が行われるようにすること

この改善のねらいに基づいて、各教科の授業時数の削減が行われることになった。このようにして生じたゆとりの時間は、学校の創意を生かした教育活動を実施することになっている。したがって、この時間のほかに、特別活動（各教科以外の教育活動）に充てる時間を加え、学校の創意工夫に基づく充実した教育活動にしていくことが、今後の各学校の最重要課題の一つであり、何としても、生徒の豊かな人格形成のための有効な教育活動にしていかなくてはならない。

この創意工夫の一例として、修学旅行の充実のための時間に充てることが考えられる。

そこで、以下の二つのことを提言し、今後の修学旅行の充実のために期待したい。

(1)　ゆとりの時間の総合的な活用を図ること

ゆとりの時間(注)は、最も多くとれる中学校の場合であっても、週当たりでは4単位時間である。これだけの時間であるから、なしくずしにしてしまえば、何となく、生徒に還元されることなく消えてしまうおそれが多い。しかし、3週間分をまとめると、十二単位時間相当になり、これは、通常の二日分の授業時数に相当する。

このようにまとめると、学校でやる気になれば、先に挙げた一泊二日のキャンプであっても、時間的には容易に実施できるようになる。

つまり、年間あるいは学期というように長期の展望に立って、このゆとりの時間の活用を図るようにすれば、先に挙げた修学旅行に必要とされる時間は、各教科の授業時数の臨時のカットというような措置をとるまでもなく、かなり満足のできる分量が確保できることになる。

もちろん、学校経営の全体からの視野も大切であるが、総合的な、しかも最も教育的な価値の高い教育活動の一つとしての修学旅行の充実を図るように努めることを考える必要があると思われる。

(注)　ゆとりの時間は、定着した名称ではないが、かなり一般化しているので、取りあえず、ここでは、この名称を用いたものである。

(2)　新鮮な修学旅行を創造すること

先に紹介した毎日新聞では、東京都立神代高等学校の弘前市周辺のリンゴ園での「体験学習」の例や松江市立第四中学校における「スパルタ合宿」旅行などを紹介している。また、教育課程審議会の答申では、集団行動の訓練的な活動、勤労にかかわる体験的な学習や体力の向上の重視の線も打ち出している。

これらのことからして、旧来の修学旅行のイメージから脱皮していく創意工夫を目指すことも大切である。もし、教師の頭脳からは新鮮な工夫が出てこないのであれば、生徒の柔軟な頭脳を生かしたアイデアを取り上げるような雅量があってもよいであろう。青年の家の利用なども、生徒の間では、時間を守り、けじめのある生活の経験が好評であっても、教師のほうがついていけないから止めてしまうというような話も出ているようである。

要は、〝生徒中心の創造的な修学旅行〟を目指すことが大切であると思われる。

（おわり）

春季研修旅行

二十五日から実施

春季の研修旅行は、一月初めより全修協各県支部で参加者募集が行われていたが、二月二十八日をもって〆切った。

本年の参加数は七八一名で昨年を二〇%上回っている。

各旅行団は十四コース、二十三団編成により三月二十五日から三十一日迄の七日間にわたり実施されるが、全修協本部では研修旅行運営のため実施本部を設置して万全を期している。

本年の傾向としては、新たに企画した徳川家康の史跡を訪ねる「三河、駿河、遠江」コースがブームに乗り一三〇名が参加。

また、沖縄の離島コースに秘境西表島を加え、五島（本島、宮古、石垣、竹島、西表）めぐりとしたコースにも人気が集った。

なお、四月の新学期早々からは、夏季研修旅行の募集が引き続いて全国一斉に行われる。

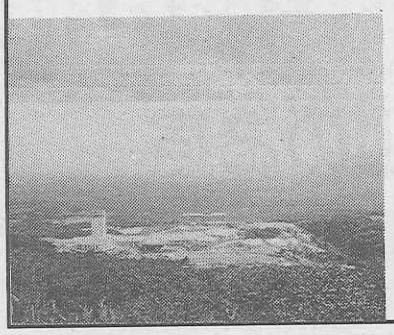
3月の主な行事

1日　東大寺二月堂お水取り～14日
2日　若狭お水送り（小浜市神宮寺）
13日　春日大社春日祭申祭り
21日　壷阪寺観音像開眼法要
奈良遷都記念祭（午後一時より時代行列）
19日　道後温泉まつり（～21日まで）
20日　高知お城まつり（～21日まで）
22日　法隆寺会式（～24日まで）
30日　薬師寺花会式（～4月5日まで）

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。
静寂のなかに憩いのひととき―。

〈修学旅行の専用旅館〉
〒250-05 神奈川県箱根町湖尻高原
箱根高原ホテル
電話0460－4－8595(代表)

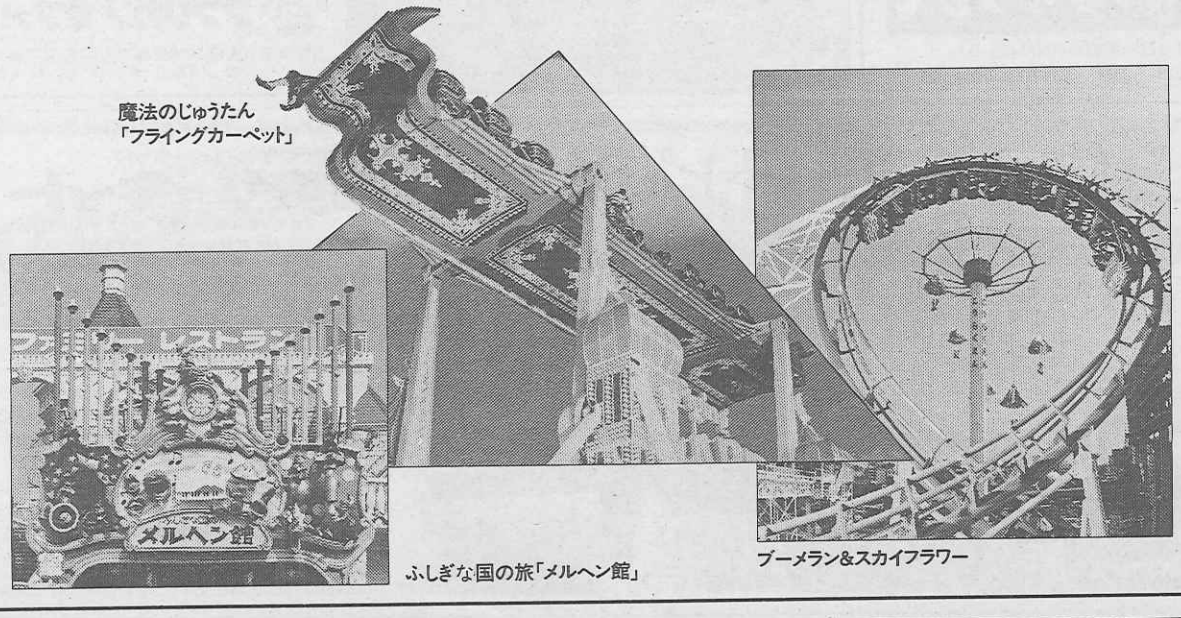
関東原野を一望しながら
大いなる旅立ち



○収容：　800名
○浴場：　200名
○防災　㊟マーク適用

那須ロイヤルセンター
那須ロイヤルホテル
東京営業所☎03(268)6180　大阪案内所☎06(231)9731

大都会のでっかい想い出。たっぷり楽しむ。



魔法のじゅうたん「フライングカーペット」
ふしぎな国の旅「メルヘン館」
ブーメラン&スカイフラワー

興奮と夢を彩るレジャーランド後楽園。その主役がトラディショナルなアミューズメントパークの後楽園ゆうえんちです。最新マシンの「フライングカーペット」をはじめ、エキサイティングな乗り物がいっぱい。さらに「メルヘン館」も加わり、都心でいちばんファンタスティック&アクティブ広場として注目されています。盛りだくさんのイベントも楽しめる後楽園は、大きな感動と興奮、忘れられない想い出を残してくれることでしょう。

後楽園ゆうえんち ●開園 午前10時
(〒112) 東京都文京区後楽1-3 ㈱後楽園スタジアム
TEL：(03)811-2111・大代表

交通のごあんない　国電：総武線水道橋駅下車
地下鉄：営団丸の内線後楽園駅下車
都営三田線水道橋駅下車

「朝の静かな国」の印象〈5〉

――全修協「韓国歴史の旅」――

財団法人 大阪国際児童文学館
総務課長　瀬川尚志

◇カムサハムニダ

日本に一番近い国はこの国です。近いのに遠いのもこの国です。むかしから今日まで離れることなく、よかれあしかれ交わりは続いています。顔付も似ているし、言語も同じ系統です。この稿の中で漢字にルビをふりましたが、発音がよく似ていることに気付かれたことと思います。しかし、私たちは、この国の歴史を、日本とこの国のかかわりあいをどれ程学んだでしょうか。考えてみると不思議なくらい何も教えられなかったのです。たとえ、それが戦争中の学校生活であったにしても。遠いのではなくて遠くしていた、遠くされていたに違いありません。

今では幸いに、沢山の書物も出版されていますし、美術展などもひらかれるようになりました。

わずか六日間の旅行では、これといって見聞をひろめることもできませんでしたが、それでも風土や文物に直接触れることができたのは大きな収穫です。これを機会に、これからは自ら近づいていく努力をしたいと思っています。

「…かつて、この国を旅した人は「The Land of morning calm」（朝の静かな国）といいました。私は、この国の朝の静かさが破られることのないように祈りたいと思います。私のつたない印象記を最後まで読んでいただきましたことを感謝（カムサハムニダ）します」

（おわり）

木かげにいこう老人たち（釜山・竜頭山公園＝筆者うつす）

新しい船の体験旅行

修学旅行は、単なる観光旅行的なセットされた旅行から、生徒の自主性を生かした体験学習へと生徒自身が肌で感じる旅行へと進歩している。

伊豆七島航路で定評のある東海汽船㈱では、新しい時代の要求にマッチした大型客船をチャーターしての洋上体験旅行、東京湾内洋上教室の利用をよびかけている。

学習テーマも豊富
洋上教室、移動教室で学習

東京湾内洋上教室

近代日本の夜明けに関係の深い史跡、たくましく活動する臨海工業地帯など、ふだん教室では学びにくい海洋、船舶、歴史地理、生物等についての生きた教材を大型客船を利用して学習する特別企画として好評である。静かな東京湾内の航海の為、雨天等による欠航等中止の心配もなく、社会科見学・遠足・卒業記念・東京方面への修学旅行の日程の一部として利用できる。▽料金＝高校生二千二百円、中学生千七百円▽期間＝一月～六月・九月～十一月▽モデルコース＝〈1〉竹芝桟橋出帆（九時半）～東京港～お台場～船の科学館～大井コンテナ埠頭～東京標灯～羽田沖～京浜臨海工業地帯～横浜港・マリンタワー、氷川丸、外人墓地など～竹芝桟橋着（三時半）〈2〉竹芝桟橋出帆（十時）～東京港～お台場～船の科学館～大井コンテナ埠頭～東京標灯～羽田沖～京浜臨海工業地帯～海堡～観音崎灯台～勝山沖～富津沖～京葉工業地帯～竹芝桟橋着（二時半）。

洋上体験旅行

独立した船内生活を通じ、生徒同士又は先生と生徒との相互理解を深め、一つの連帯感がより深い人間関係と和を生み出すことができる。船内では、グループ別研究発表、討論会、サークル活動、講演会等生徒の自主性を発揮させ、相互のコミュニケーションの円滑化を図り、またブリッヂ（操舵室）見学等、船に関する理解も深めて、その体験を学生生活の想い出として印象づけられる。▽モデルコース＝鳥羽・高松・白浜（四泊五日）①東京発（十九時）～船中泊②鳥羽・見学～船中泊③高松・見学～船中泊④白浜・見学～船中泊⑤東京着（十七時）▽モデルコースの他、国内各地への運航が可能。

伊豆七島移動教室

太平洋に浮ぶ体験学習の宝庫・伊豆大島、三宅島など＝地学植物、動物、民俗学の生きた教材として、またハイキング、サイクリング、バスハイク等楽しみながら学べる移動教室、林間学校等の場として最適。伊豆大島＝▽費用概算　①三原山裏砂漠ハイキング〈夜行日帰り〉五千二百円②全島一周バスハイク＝▽費用概算　①火の山峠ハイキング〈夜行日帰り〉六千八百円②全島一周バスハイク〈夜行日帰り〉七千円。大島、三宅島以外の新島、神津島、八丈島でも島内宿泊を伴うもであれば移動教室として可能。事前学習のための資料として、フィルム「伊豆の島々」の利用可。問い合せ先＝東海汽船㈱営業課、電話〇三―四三六―一一四四、東京都港区海岸一―九―五。

ニュース点描

日韓合同古代史シンポ・　日韓両国の古代史、考古学、民俗学、美術史の権威ある研究者が参加する第二回のシンポジウムが、二十六、七の両日、韓国ソウルで開かれる。毎日新聞（3・8日付）によると、今回は朝鮮半島南部の伽耶（かや）地方にあったとされる「任那日本府」の問題を江上波夫東大名誉教授が取り上げるというが、同氏の「騎馬民族征服王朝論」とどうかかわるか、大いに関心を持たれるところである。

国道二〇二号線、前原を過ぎると右手前方に、高さ三六五㍍の美しい姿の可也（かや）山が見える。万葉集巻十五に「草枕旅に苦しみ恋ひ居れば可也の山辺にさ男鹿鳴くも」（壬生宇太麻呂）と歌われている。伽耶＝可也で、南鮮伽耶の人々が住みついたのが可也だともいう。地名一つにも日韓古代史が色濃く残る。日韓両国民の真の友好のため、古代史シンポに期待する。

◇　◇

関東の地震・二月二十七日、南関東を中心にマグニチュード6・3（震度4）の強い地震があった。東京で震度4を記録したのは、昨年八月の伊豆大島近海地震以来だが、このところ東京での有感地震は今年に入ってから十回、地震の巣の上に漂える人口一千万の大都市東京。

地球の表面積の一四〇〇分の一の日本列島、ここへ地球の火山活動、地震の一〇％が集中、まったく有難くない話。これは「なぜだ」。要するに、動くマントル対流が、日本海溝から地球の中へ入り込んでいくためにおこる現象。伊豆半島や房総半島の突端が、これに抱き込まれて沈降する。そして大地の岩盤がハネ返って、大地震になる。東海地方大地震が時間ヨミされるのもこのため。

地震のあとに、子供たちに「生きている地球、動く大地」を考えさせよう。

◇　◇

壷阪寺の大仏・　高さ、20㍍、石造仏では世界最大という大観音石像が、「お里・沢市」でも有名な壷阪寺に建立され、三月十二日から開眼法要が行れる。長い間のインドでの、常盤住職の救ライ活動の慈悲の心が、実ったもので原石はデカン高原の世界最古の石、約三億年も前のもの、壷阪の台地の整備に3年、10㍍の地中深く2万枚の土台石と25万巻の写経が埋っているという。このところの薄っぺらな政治の世の中の、宗教界の重厚な話。

お知らせ

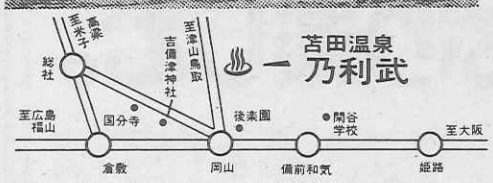
「船舶映画」特集
―交通博物館―

▽期間　4月5日～4月17日▽上映フィルム　①南極観測船〝白瀬丸〟（20分）＝新しく建造された南極観測船〝白瀬丸〟の起工から完成までを紹介。②長距離フェリーへのいざない（27分）＝日本をとりまく21の長距離フェリー航路の現況や船の構造、設備、役割などを紹介▽時間　平日（午後二時）、日祝日（午前十一時、午後一時・三時の三回）▽入館料　大人二百円、小人百円（月旺日休館）▽お問合せは交通博物館展示課＝電話〇三（二五一）八四八一㈹まで。

山陽路 岡山のお宿

10,000坪の庭園を擁し、おもちつき、また、ファイアーストームを囲んでのフォークダンスなど、楽しいリクリエーションタイムをご用意して、皆様方をお待ち申し上げております。(500名可能)

昼食休憩・ガーデンパーティーもご予約を承わります。



■岡山駅より車で15分・バス25分。■中国自動車道、津山インターより45分。

政府登録国際観光旅館
とまだ苫田温泉 乃利武
〒701－11　岡山市栢谷1453
☎086294－2321　TELEX. 5922－621

育てる心は、みんな同じ。

●営業時間
9:00～17:00（3月16日～11月15日）
9:30～16:00（11月16日～3月15日）
●修学旅行料金　高校生 1,000円
中学生 700円、小学生　600円

別府あじむ草原
AFRICAN SAFARI アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
☎（09784）8－2 3 3 1㈹

「今日」に触れ、学び、修める、モートピア体験。

興味こそ学びの原点。モータリゼーションへの興味を通して、若者のこころに語りかける有意義な修学旅行が、多くのご支持をいただいています。

エンジン教室、工場見学、実際に運転できるのりもの…。ゆたかな自然のなかで、触れて、確かめて、楽しみながら理解する。それがモートピアでの修学旅行です。鈴鹿サーキット、多摩テックには、そんな意義深い体験を快適なものにする施設がいろいろ。リラックスできる専用ホテルでのお食事や、キャンプ場での野外炊飯をはじめ、旅の夜を彩るファイア・ストームの解放感に、忘れ難い思い出がつくられることでしょう。

陽気なビッグ・レジャーランド
鈴鹿サーキット
〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992／☎(0593)78-1111
●名古屋または大阪より近鉄特急白子駅下車直通バス
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離。
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。

緑のモートピア
多摩テック
〒191 東京都日野市程久保1／☎(0425)91-0820
●京王線多摩動物公園駅下車直通バス

ご視察のお申し込み、資料ご請求は…
株式会社ホンダランド
名古屋営業所/修学旅行課：〒450 名古屋市中村区名駅3-12-12
竹生ビル☎(052)571-7176
本社/東京営業所：〒104 東京都中央区八重洲2-6-20
ホンダ八重洲ビル☎(03)274-5821
大阪営業所：〒530 大阪市北区芝田2-1-1
阪急芝田町ビル☎(06)372-1526